

『続・倭詩』を読んで…

『続・倭詩』を読んで…

これは、小説や 随想を超越した 「哲学書」だ!!

北見・総合自然食品

ふきのとう店主 **佐藤 健一**



冷静に認識させて頂くことができました。

現代人のバイブルに

疲れを感じることなく、次のページをめくるワクワク感、ドキドキ感、一語が誘う臨場感は考えられない表現で、小説や随想を超越した「哲学書」であると思います。

以前、札幌で行われた船瀬先生の講演会で名刺交換をしたときに「宮下さんには開店からお世話になっております」とご挨拶させていただいたところ、「宮下さんは、まさに現代の哲学者ですよ! ああいう方は今の時代におりませんね」と仰ってありました。

まさにこの本を読むと雑念が洗い流され、近視眼的に物事を見たり、利己主義に陥っている現代人には「バイブル」となるでしょう。

まるで映画を見ているよう

多感な時期にお母さまが逝って、常に心で泣いて真理を求め、涙の中で修行に明け暮れ「母性」を求めていると思います。

考えられない超人的な生き方をしてきた宮下さん。

まるで映画を見ているような場面など、



宮下周平

倭詩

懐かしき
未来が、
ここに。

大貫妙子

いつも大変お世話になっております。

年末にはお電話で久しぶりに宮下さんのお声を聞き、歳末の疲れも吹っ飛びました。

大晦日の31日に「続・倭詩」が届きました。貴重な本を誠にありがとうございます!

12月の慌ただしさで注文するのを忘れておりまして申し訳ありません。

見えない力で引きずり込まれるよう…

正月の5日間はパソコンを開けずに、今までの反省とこれからの人生の在り方全体を考えてみようと思っておりました。かなり厚い本なので少しだけ読んで、1月中には読めるだろうと元旦に本を開き読み始めたところ、何か見えない力で引きずり込まれるよう何もできずページをめくっており、2日の夕方までに読み終わりました。

知らないことばかりで驚きの連続の中に、涙が出そうな場面、自分がその時代の中で当事者になったような錯覚、表面的に正しいと思っていたことに複雑な裏があったり、知っていたことが実は違っていて、本当の真実が詳しく書かれていて、その洞察眼の鋭さに言葉も出ない驚きもありました。私の能力では深くは思慮できませんが、当事者の心の中に入って行き、その葛藤、深い想いや悩み、苦しみ、感動などが伝わってきます。今までに経験がないほど深く、また

生誕40周年
No.4431 17-014 1/13



※裏表紙から読むと、
「水とは医学」に!

どうい文章では書けないような細やかで専門的な表現は、今まで読んできたものと違い、どうしてこういう言葉、表現ができるのか不思議でなりません。

「麻、そして墨」の項では、墨とはこんなに深く複雑で繊細なものとは知らず唖然とするばかりでした。「たかが墨、されど墨」。日本の文化の神髄の様な気がしました。

中国古楽の「幽蘭」を奏で、日本人初の「免許皆伝」を戴いたとの話はインターネットで見ることがありましたが、指から血が出るほどの猛訓練をし、「孔子の心がわかった!」という言葉に背筋に電気が走りました。

常識とされていることに裏から、右から、左から、あらゆる方向から見れば一面しか見ていないことや、歴史の表に出ない人々が影から時代を支え動かした労苦、その働きや苦悩……大和の心が随所に感じられ、日本人としての誇りとありがたさをつくづく感じた次第です。

これからの人生の指針に

大貫さんの述べている「覚悟」……本当に大所に立つ今の人たちには一番重要な言葉と思います。

政治家をはじめ、時代を作る人たちが、いざとなったら弁解と逃避ばかりの小粒な人間ばかり…。特攻隊の人たちは、将来の日本人、自分たちの家族をはじめ、果てることのない日本民族の繁栄を胸に、散って行きました。学生時代に特攻隊の方々の遺言書を読んだことがありましたが、生き生きとして悲観さは微塵もなく、輝く未来に旅立つような男らしさが漂っておりました。総合自然食品 ふきのとう佐藤 拝

私もこれから人生に悩みが生じたら、この本の一節でも読んで精進していきたいと思います。本当にありがとうございました。<m(_)_m>

エリクサー開発の驚くべき内容

また、巻末に「水とは医学」がありました。

真の医学者として世界の長寿村の研究をしている「お茶の水クリニック院長」で国際自然医学会会長の森下敬一博士と、医学医療、環境問題研究者でもある船瀬俊介氏との3者による鼎談が掲載されています。

エリクサー浄水器の開発に至るお話は驚くべき内容で、700種類もの薬石や薬草、宝石などが世界中から集まってきた不思議、これほどまでの種類と量をオーリングテストで短期間に造ってしまう能力は、まさに神業としか思えません。大学の研究室で、複数の人間が研究しても何年もかかると思います。

精妙な自然界の「場」や物の「気」、「エネルギー」の質や度合いをオーリングテストでわかる人は他にいないでしょう。まさに驚嘆すべき能力で、こういう力も過去の修行や天から与えられた宿命のような気がします。

食べ物にはすべて水分があります。世界の学者から認められた「エリクサー」浄水器は、公的機関や世界的水の研究者からも絶賛されていますから、これから国際的にも食品分野や自然環境の面で、大きな力を発揮していく事と思っています。

今後も宮下社長のご活躍を祈念しております。

総合自然食品 ふきのとう佐藤 拝